

令和3年7月16日

令和3年度水稻生育定期調査結果 No.4-2 (7月5日現在)

岩手県農業研究センター生産基盤研究部 生産システム研究室・県北農業研究所 作物研究室
(生産基盤研究部)TEL:0197-68-4413、FAX:0197-71-1081(県北研究所)TEL:0195-47-1074、FAX0195-49-3011

○7月5日現在の稲体栄養・土壌窒素の調査結果

(7月5日現在の生育調査結果等については、7月7日掲載の水稻生育定期調査結果 No.4をご覧ください。)

(1) 北上(農業研究センター)

地上部乾物重は平年を上回り、稲体窒素濃度は平年より低く、稲体窒素吸収量は平年並み～やや少なくなっている。土壌中アンモニア態窒素量は、平年より少なくなっている。

(2) 軽米(県北農業研究所)

地上部乾物重は平年を上回り、稲体窒素濃度は平年より低く、稲体窒素吸収量は平年並みとなっている。土壌中アンモニア態窒素量は、平年より少なくなっている。

表1 地上部乾物重、稲体窒素吸収量、土壌窒素量(7月5日)

調査項目	単位	年次	北上 (農業研究センター)			軽米 (県北農業研究所)
			ひとめぼれ	あきたこまち	銀河のしずく	いわてっこ
地上部 乾物重	(g/m ²)	本年	310	302	300	189
		平年	262	250	274	155
		平年比	118%	121%	109%	122%
稲体窒素 濃度	(%)	本年	1.8	2.1	1.9	2.3
		平年	2.4	2.4	2.3	2.8
		平年差	-0.6	-0.3	-0.4	-0.5
稲体窒素 吸収量	(g/m ²)	本年	5.6	6.4	5.6	4.3
		平年	6.3	6.1	6.4	4.2
		平年比	88%	105%	87%	103%
土壌中 アンモニア態 窒素量	(mg/100g 乾土)	本年	0.48	0.78	0.48	0.97
		平年	0.79	0.81	0.84	2.29
		平年差	-0.31	-0.03	-0.36	-1.32

※平年：北上は平成28～令和2年の5か年平均値、軽米は平成30から令和2年の3か年平均値

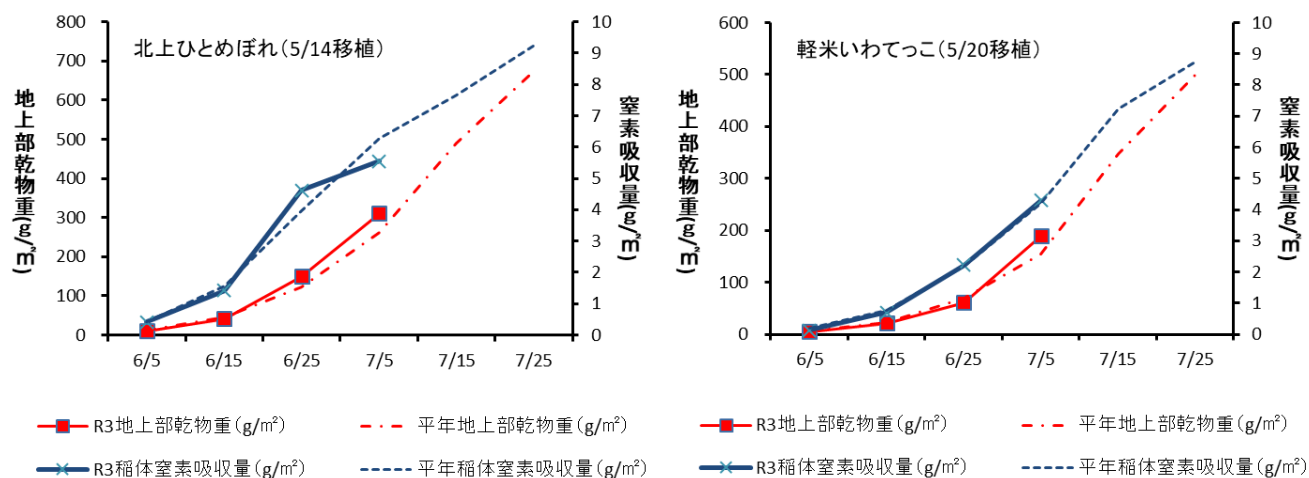


図1 地上部乾物重と稲体窒素吸収量の推移
(左側から、北上「ひとめぼれ」、軽米「いわてっこ」)

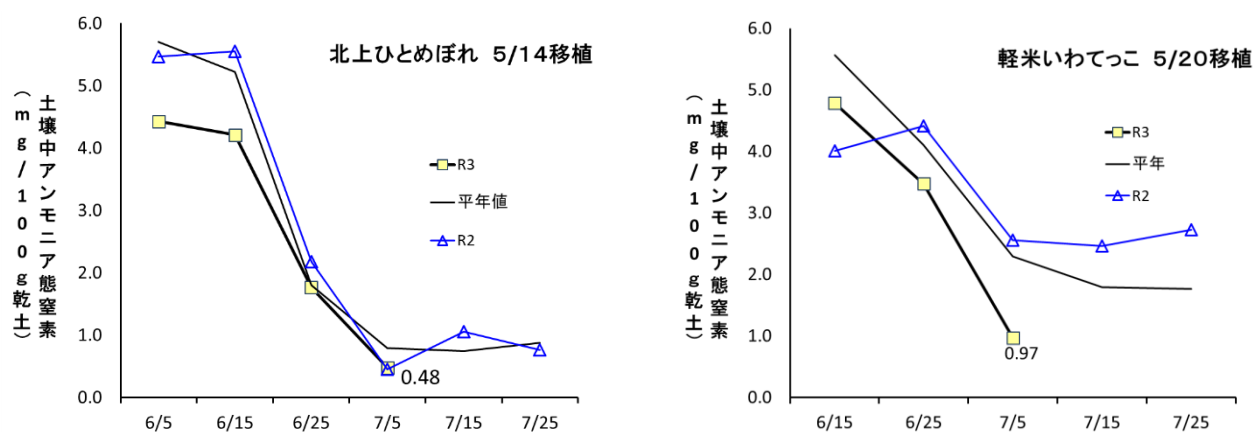


図2 土壌中窒素量の推移
(左側から、北上「ひとめぼれ」、軽米「いわてっこ」)